

グローバルキャッシュマネジメントの導入に向けて

～段階的取組による着実なROI創出～

【セミナー概要】

- 主催：** 株式会社CDIソリューションズ
共催： 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社、GXS株式会社
日時： 2010年7月28日（水） 13:30～16:00（受付開始 13:00～）
場所： 虎ノ門琴平タワー 3階会議室（東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー3階）
参加費： 無料
概要：

グローバルに活動する企業は、従来より組織やSCMなどの活動を最適化する取り組みを続けてきました。そのなかで、企業価値へのインパクトが大きい資金管理についても重要な最適化対象として以前から注目を浴びていましたが、グローバルでの資金最適化、すなわちグローバルキャッシュマネジメント（GCM）の導入にまで至っていないのが実情です。

国際財務報告基準(IFRS)に代表されるように、グローバル企業が自身の活動を把握しコントロールする仕組みはますます重要度を増しています。また、これまでGCM導入の壁となっていた事項についても様々な仕組みが整いつつあります。

本セミナーでは、上記を背景として、段階的な取組により過大なリスクを負うことなく着実にGCMへの第一歩を踏み出すためのスモールスタートの取組手法をご提案致します。

【プログラム】

- 13:30 ~ 13:35 : ご挨拶
(株式会社CDIソリューションズ 代表取締役 畠中 一浩)
13:35 ~ 14:15 : 第1部:GCMの重要性および実現に向けたアプローチ
(株式会社CDIソリューションズ 永松 正大)
14:15 ~ 14:55 : 第2部:GCMへの取り組みを支えるグローバルインフラ基盤
(GXS株式会社 岩田 拓哉)
15:05 ~ 15:45 : 第3部:GCMへのスタートとステージアップをサポートするソリューション
(東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 山際 友博)
15:45 ~ 16:00 : 質疑応答・アンケートご回答

【セミナー会場地図】





グローバルキャッシュマネジメントの導入に向けて

～段階的取組による着実なROI創出～

【講演内容】

第1部：GCMの重要性および実現に向けたアプローチ

各国の諸規制やインフラの問題、企業全体で見た優先度等の背景から、各企業にとってGCMは「重要だが実現に至らない」テーマであったものと思われます。しかし、IFRS(特に包括利益経営)により金融資産および資金の効果的な運用が以前に増して要求されることを勘案すると、グローバル企業は今一度GCMへの取組に本腰を入れる必要があるのではないのでしょうか。本講演では、それら背景およびGCMの重要性を再確認するとともに、GCMによる期待効果・ROIを踏まえ現実的な業務・情報システム構築アプローチについて考察を加えます。

第2部：GCMへの取組みを支えるグローバルインフラ基盤

40年以上の歴史を持つ世界 No.1国際EDI アウトソーシングベンダーのGXSは、B2B eコマースにおけるお客様データの安心・安全・確実な相互運用を可能とします。また、銀行との接続に欠かせないSWIFTをはじめ、様々な国際標準のフォーマットやプロトコルにも対応しています。GXSのグローバル対応プラットフォーム「GXS Trading Grid」に接続するだけで、企業間だけでなく銀行とも容易に接続できるようになり、情報の集約化、業務の効率化に加え、全体コストを抑えることも可能になります。本講演では、この世界中を網羅するネットワーク基盤がGCMの推進を如何に強力にサポートするかについてご説明します。

第3部：GCMへのスタートとステージアップをサポートするソリューション

グローバルキャッシュマネジメントの導入には高度な財務管理パッケージやベストプラクティスの導入が注目を集めたものの、高コスト・高リスクがボトルネックとなり、実際のシステム導入には至っていませんでした。そこで、本講演では初期投資を最小限に抑える「スモールスタート」とその後の段階的導入アプローチを実現するための有効なソリューションをご紹介します。

【講師プロフィール】

永松 正大

(株式会社CDIソリューションズ マネージャー)

慶應義塾大学法学部法律学科卒。同大学法学修士。国内コンサルティングファームを経て現在に至る。製造業・製薬・商社・情報サービス等の幅広い事業分野に対するコンサルティングに従事。戦略監査から、業務改革支援、システム導入、改革後の定着化に至るまでの一連のコンサルティング経験をもつ。

岩田 拓哉

(GXS株式会社 営業本部 ソリューションコンサルタント)

ユーザー企業において情報システム担当、その後国内、Manugistics, SAP などのパッケージベンダー数社を経て現在に至る。主に企業の業務改善。改革提案に従事。現在はプリセールスとして、業務改革提案に従事。

山際 友博

(東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 ソリューション事業本部 第3事業部 コンサルティング2部 コンサルタント)

東洋ビジネスエンジニアリング入社後、総合商社のグローバル業務システムに関するIT戦略立案・要件定義、業務管理システムの構築等のプロジェクトに参画。IT戦略立案から、各種システム構築、運用支援まで幅広いプロジェクト・コンサルティング経験を有する。